

新型『アウトランダー』PHEV モデル、
先行受注開始から約3か月で累計1万台超を受注

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤隆雄、以下三菱自動車）が、2021年12月16日に発売した新型クロスオーバーSUV『アウトランダー』のプラグインハイブリッドEV（PHEV）モデルの累計受注台数は、2021年10月28日の先行受注開始から約3か月後となる2月5日の時点で10,000台を超えました。（販売計画1,000台/月）

新型『アウトランダー』PHEV モデルは先行受注開始直後から好調な受注ペースを見せており、約3か月強で先代モデルの年間過去販売台数（約11,000台）に迫る見込みです。近年のカーボンニュートラルへの関心高まり、補助金と優遇税制なども好影響をもたらし、購入されたお客様のうち、「今回新たに三菱自動車のPHEVを購入されるお客様」が約8割を占めています。

また、購入されたお客様のうち、最上級グレード「P」が受注全体の約8割を占め、「PHEVシステムによる環境にやさしく、滑らかで力強く静かな走り」、「ツインモーター4WDによる様々な天候や路面における安心感の高い走り」、「非常時やアウトドアで役立つ給電機能」などに高い評価をいただいています。

今回の受注実績を受けて、国内営業本部長の石川善太は次のように述べています。「想定を大きく上回るお客様から支持をいただき、電動車を購入の候補として考えるお客様が着実に増えてきていると共に、日常はEV、遠出はハイブリッドで走りを楽しめ、CO₂の削減にも貢献できるPHEVは、この時代の最適解であることに共感いただけたと実感しています。新型『アウトランダー』のPHEVモデルに加え、『エクリプスクロス』のPHEVモデル、2022年度初頭に投入予定の新世代の軽EV、そして秋ごろに販売再開を予定している『ミニキャブ・ミーブ』を含めた電動車ラインアップで、さらに多くのお客様のニーズにお応えしていきます。」

以 上